

前回までのあらまし

大戦景気に沸く
大正六(一九一七)年
ついに鈴木商店は
貿易年商で日本一となる
しかし翌年
米騒動をきっかけに
本店焼き打ち事件という
悲劇に見舞われる

また
第二次世界大戦の
終結とともに

反動不況と猛烈な
デフレーションが
日本経済を襲う

鈴木商店と同じく
業績を伸ばしていた
岩井商店・日本綿花も
苦境に立たされる

times.
OF THE WAR!
EVOLUTIONISTS
LEGS FOR HOLL
The State of
When the Occasion is Right
to sell the product of the
to the

鈴木商店の金子直吉は
米国政府と直接交渉し
船鉄交換契約を成立させ
鈴木の名を更に高めた
後藤新平の要請により
帝国石油(後・昭和石油
現・出光興産)を買収
するなどその勢いは
衰えることはなかった



岩井商店の岩井勝次郎は
社員を戒めるため
訓示を発する
人・資金・商売との均衡や
狭く深くを主眼として
堅実経営を訴えるなど
鈴木商店の拡大路線とは
異なる内容であった
また
鉄鋼輸入商社の老舗の
強みを生かじ日本橋梁を
設立する



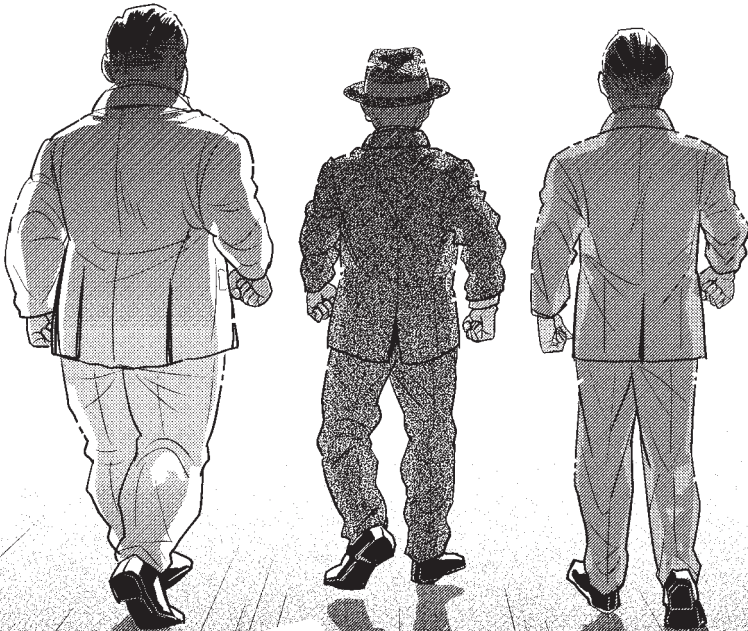
日本綿花の喜多又蔵は
大戦中に日本に膨大な
外貨をもたらした功績が
認められパリ講和会議の
民間随行人員に選ばれるなど
関西財界で名を馳せた
そして
人造絹糸の製造にも進出
旭化成を設立し
鈴木商店と対立する



明治から
双日の源流を
追ってきた本作品

開国後の
産業革命を牽引し
事業や人材を
創造し続けた
総合商社 双日の
先駆者たちの功績

そして現在まで
生き続ける
遺伝子とは何なのか
その本質を
探る物語はついに
最終巻を迎える



sojitz

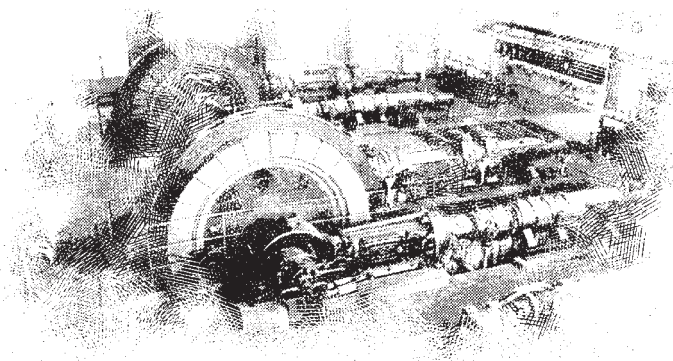
Hassojitz

発想 × sojitz

第1章

鈴木商店

夢の技術、合成アンモニアの製造

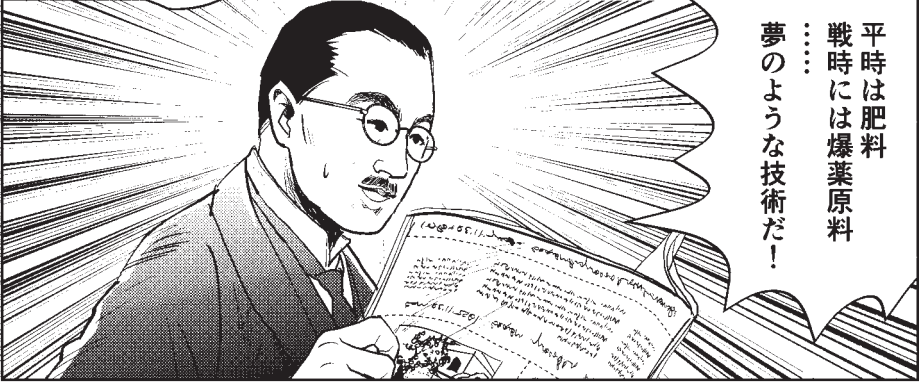


ドイツは連合国に港を封鎖され爆薬原料である硝石の輸入ができなくなり早期に敗北すると見られていたが

鈴木商店ロンドン支店

空中の窒素を原料にしたアンモニア製造技術を開発し戦争は予想外に長引いた……

平時は肥料 戦時には爆薬原料 …… 夢のような技術だ！



鈴木商店は豊年製油（現・J・オイルミルズ）にて大豆を製油 大豆粕を有機肥料として 全国に販売している

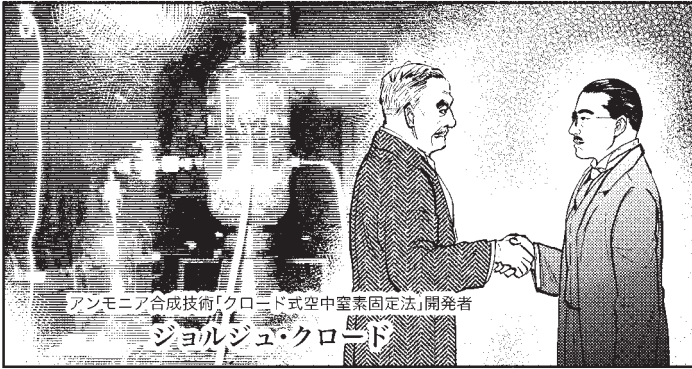
鈴木商店本店

ただ肥料輸入のうち 8割以上は窒素肥料で 化学肥料の国産化が必要である

空中窒素固定法によるアンモニアの製造は 政府も財閥も研究しているがまだまだ

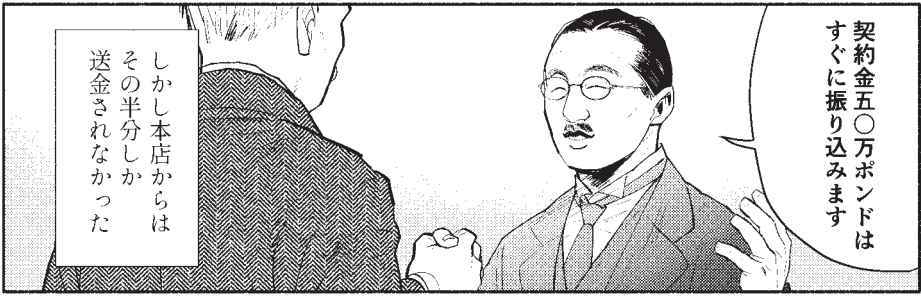
その夢の技術 誰よりも早く確保しよう 必要な金を送るぞ 高畑くん！





鈴木商店はフランスの
レール・リキッド社と
特許権の取得で合意した

アンモニア合成技術「クロード式空中窒素固定法」開発者
ジョルジュ・クロード



契約金五〇万ポンドは
すぐに振り込みます

しかし本店からは
その半分しか
送金されなかった



鈴木は経営形態をあらため
株式会社化したほうが良い
神戸高商(現・神戸大学)
出身の学卒派を中心に
経営改革をすべきだ



高畑は仕方なく
砂糖取引で得た資金から
残りを支出した

永井……
本店はどうなっ
ているんだ……

帝人と対立し
日本綿花の
喜多又蔵とともに
旭絹織(現・旭化成)を
設立した野口遵

彼もまた
この夢の技術に
興味を持っていた



そのレターは
なんですか？



野口遵は
イタリアのカザレー社を訪問し
工場の幹部と談話をした

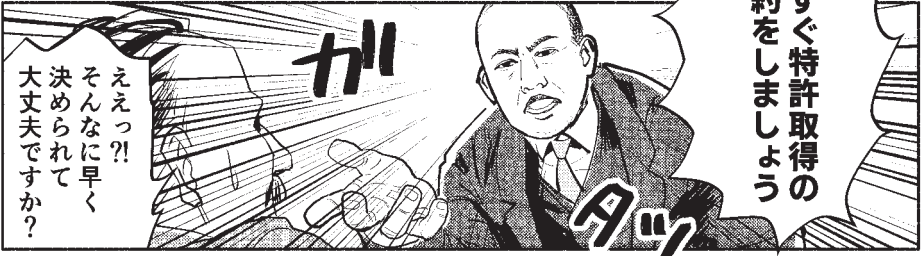


なにっ!?
また鈴木商店か
彼らの動きは早すぎる
このままでは手遅れに
なる

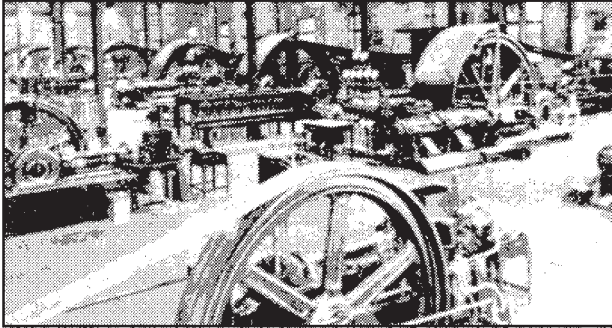


あっ
これですか
鈴木商店も当社の
空中罫素固定法に
興味があるようです

今すぐ特許取得の
契約をしましょう

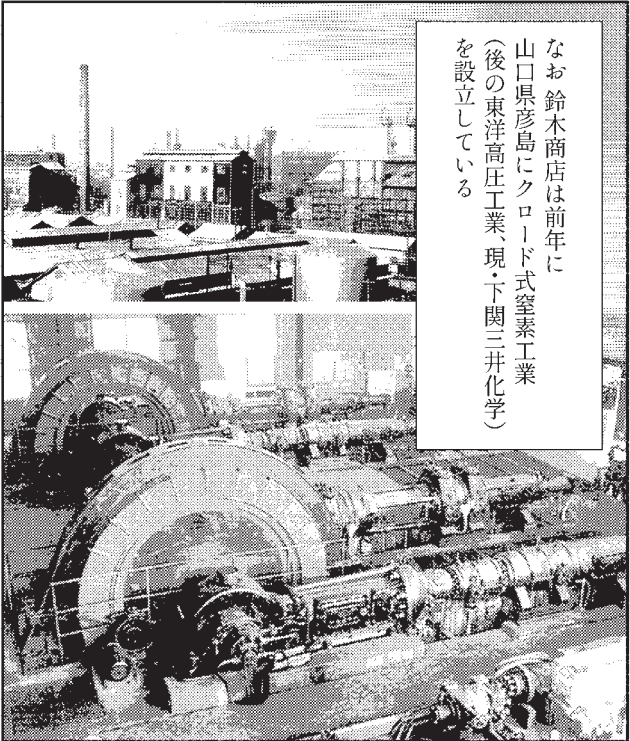


ええっ?!
そんなに早く
決められて
大丈夫ですか?

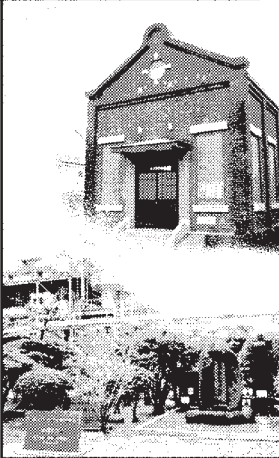


大正一二(一九三三)年
野口遵は
宮崎県延岡に工場を建設
翌年には
合成アンモニアの
製造を開始する

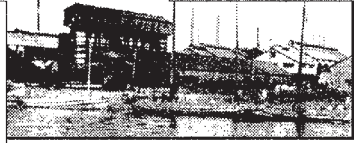
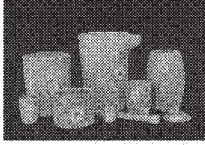
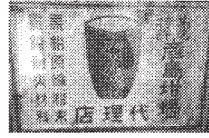
なお鈴木商店は前年に
山口県彦島にクロード式窒素工業
(後の東洋高压工業、現下関三井化学)
を設立している



現在の
下関三井化学内には
「我国安母尼亜
(アンモニア)
合成工業発祥之地」
と記された石碑
アンモニア分離機の
モニュメント
そして鈴木商店時代の
建物も現存している



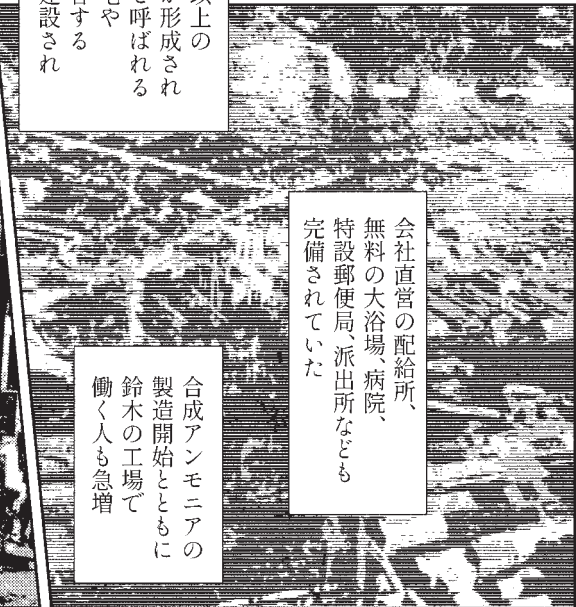
彦島には既に
日本金属彦島製錬所
(現・彦島製錬)
彦島増埒
(現・日新リフラテック)
の工場があり



人口一万人以上の
「職工の町」が形成され
「職工長屋」と呼ばれる
従業員の社宅や
独身者を収容する
「合宿所」が建設され

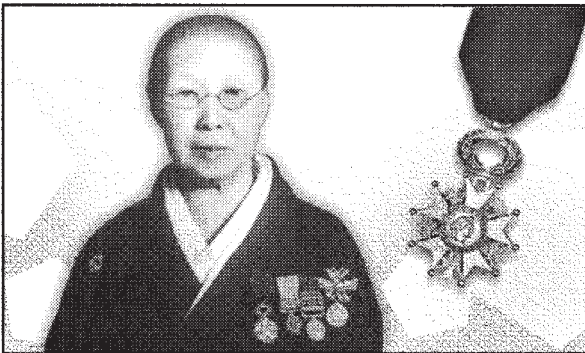


鈴木商店は
大正一三(一九二四)年に
下関と彦島西山地区間を結ぶ
山陽電気軌道
(現・サンデン交通)を設立した



会社直営の配給所、
無料の大浴場、病院、
特設郵便局、派出所なども
完備されていた

合成アンモニアの
製造開始とともに
鈴木の工場で
働く人も急増



大正一五(一九二六)年には
「クロード式窒素工業
(現・下関三井化学)」の設立
そして技術導入の功績が
高く評価され
フランス政府より最高位の
レジオン・ドヌール勲章が
鈴木よねに贈られた